

子育てに関する部分を切れ目なくできる施設で、天童市のげんキッズや山形市の施設に先駆けて開設され、全国の屋内型の施設の原型ともなる先進事例。

市民検討委員会を立ち上げて整備を検討し、開園に至ったもので、市民の声も反映した施設で、総工費は33億4000万円。

・あそびあランド

平成25年5月5日 子供の日に4,400㎡の規模でオープンした施設。
公園を活用した広大な屋外施設の子どもの遊び場。



館内の貸館、遊び場の運営をNPO法人 クリエイト東根が指定管理者として委託され運営。遊びをコーディネートする、プレイリーダーを配置して遊びを提供。子供たちが自然の中で、自分の責任で自由に遊んでもらおう、というコンセプト。五感を使い、様々なことに興味を持ち、創意工夫し、失敗し、挑戦し、それを乗り越えて成長していくことを大切にしている。



大人のプレイリーダーが遊び方を教えることもあり、全国からも人が集まっている人気施設。最近では、遊び方を知らない子供、遊ばせ方を知らない大人の方も多いそうで、保育士や様々な資格を持つ、遊びのプロのプレイリーダーがいることで、屋外でもダイナミックに、楽しく遊べる。

あそびあランドでは、禁止事項も極力なくし、「けがとごみは持ち帰る」ということで、けがも自己責任としているそうですが、苦情などはなくて、けがをしても、「治ったらまた来るね」というお子さんもいるとのこと。

広大な土地と気候を生かして季節ごとに色々な遊びができるような工夫がなされている。県外からも多くの子供連れが訪れるというのも納得。

「子育てするなら東根市」

全国の自治体の先を行く素晴らしい取組みで、山形県内では唯一人口増加し、政策としても成功しているようだ。

【防災人材育成の取組みについて】

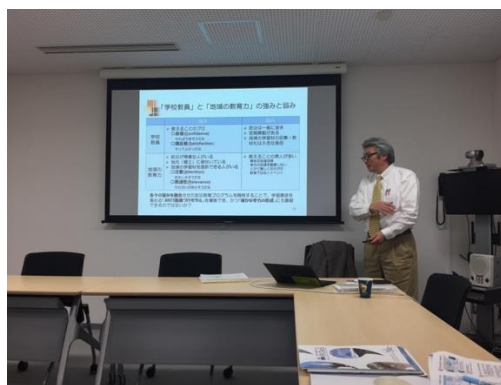
開催日：平成 29 年 2 月 17 日（金）10：30～12：00

会場：東北大学災害科学国際研究所防災教育国際協働センター

講師：東北大学教授 佐藤健氏

(別紙資料参照)

石巻市の学校防災教育やその他全国の先進的な事例を見る中で、防災も学校・子ども達と地域を結び動かしていく取組みが結局は必要だということを改めて認識した。全国にはユニークな取組みがたくさんあり、本市での取組みの参考にしたい。



【のびすく仙台現地視察】

開催日：平成 29 年 2 月 17 日（金）13：30～15：00

会場：のびすく仙台（仙台市青葉区中央 2 丁目 10 番 24 号）

ママさんが中心になって結成された NPO 法人が指定管理で運営する施設。都心のど真ん中で仙台市民でなくても誰でも一時託児サービスも受けられ、たくさんの親子連れで賑わっていた。託児サービスはほぼ毎日いっぱい、他にも相談事業などいろいろ事業をしており、行政では出来ない民間ならではの細かいサービスが見受けられた。一方、指定管理料は毎年変わらないので、良かれと思って新規事業をやればやる程自分で自分の首を絞めることになるという悩みもお聞きした。公共管理で指定管理や協働の流れは良いことだとは思いますが、単なる行政の安価な下請けに使われてはならない。現場の意見を聞く貴重な機会となった。

